

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月11日

評価対象年度：平成 19 年度				管理	1-7-2-7
事務事業名 ふれあい文化ホール企画展開催事業				部等名	教育部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	白沢公民館
	一般	01-100504001	細々目名		
政策体系	基本目標	1	豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくり		
	施策	7	文化財の保護・継承と芸術、文化活動の推進		
	基本事業名	2	文化・芸術活動の充実		

事業概要 実施内容	市民の豊かな心と創造性を培うための企画展や市出身や関係者などの文化活動の成果発表の展示を行う。				
根拠法令等	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業			
	評価区分	<input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価			

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業		事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定(年度 ~ 年度)	
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	254,959 円	16 原材料費 52,500 円
	7 賃金	円	12 役務費	135,400 円	18 備品購入費 円
	8 報償費	180,857 円	13 委託料	円	19 負担金補助及び交付金 円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計 623,716 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象(誰を、何を)		市民他来館者	
手段(事業の具体的な内容、手順等)	作家選定等の企画案の作成、打合せ、広報、運搬、展示作業、来館者受付、作品管理。	活動指標名・式(アウトプット)	活動の大きさを表す指標
		指標(1) 名称 企画展の開催数 式 事業 指標(2) 名称 式	
意図(対象を、どのような状態にしたいのか)	市民の文化活動や意識の向上を図る	成果指標名・式(アウトカム)	意図の達成度を表す指標
		指標(1) 名称 入館者 式 指標(2) 名称 式	
事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか 企画展の鑑賞をとおして、地元の作家の活動を知ることができ、文化への理解を深めることができる。また、作品発表の場として利用することで、文化活動の推進を図ることで施策に貢献している。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度(実績)	年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込み)	年度(最終目標)
指標	活動指標(1)	回			13	13	
	活動指標(2)						
	成果指標(1)	人			9,227	9,500	
	成果指標(2)						
投入量	事業内訳	国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円			106	90
		一般財源	千円			518	901
	事業費計(A)	千円			624	991	
職員数	人				0.3	0.3	
人件費平均額(年)	千円				8,373	8,373	
人件費計(B)	千円				2,512	2,512	
総事業費(A+B)	千円				3,136	3,503	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

<p>、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?</p> <p>合併に伴い、展示希望の申し出が増えている。それに合わせて来館者数も増加傾向である。</p>
<p>この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?</p> <p>県内でも有数の展示施設であり、さまざまなジャンルの展示会の開催をして欲しい。 有名な作家の展示会も開催して欲しい。</p>

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】、改革改善案へ	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】、改革改善案へ	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】、改革改善案へ
文化活動の推進を図ることができる。	伝統文化の継承・保存、発表機会の提供、美術鑑賞機会の提供は公的機関の責務である。	市外からの来場者の増加を図るべき。
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】、改革改善案へ	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
入場料の徴収ができる作家の企画展を開催することで入場者の増加が望める。	地域文化の中心となっており、文化活動活性化の役割を担っている。	他に本宮市内には文化活動発表の専門の展示施設はない。
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input type="checkbox"/> 無 【理由】
ポスター・チラシも手作りであり、展示作業等も職員が行っている。		職員一人で、学芸と事務の両方をおこなっており、最低限の職員体制である。
		有料の企画展の開催によっては観覧料の徴収ができる。

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	合併により観覧者数が増加している。また、本宮地区からの展示希望の申し出があり、19年度は2件開催している。20年度も2件開催予定である。																					
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要																						
入場料の徴収できるような有名作家の企画展の開催による入場者の増加と歳入の増。 本宮地区からのバスがないために、車を運転しない方の交通手段の確保。																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																						
企画展開催に係る経費 (人件費・運搬費・印刷費等) の確保ができるか。 交通手段の確保が可能か。																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																						
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						